

《担当者名》 歯学部教授 / 齊藤 正人 歯学部教授 / 會田 英紀
 歯学部講師 / 塚越 慎 歯学部助教 / 尾立 光 歯学部助教 / 福田 敦史
 北海道上川総合振興局保健環境部保健行政室 / 佐々木 健
 歯学部助手 / 榊原 さや夏

【概要】

身体・精神的な障害者（心身障害者）や介護が必要な高齢者も健常者と同等の医療を受ける権利がある。障害があるということとはどのようなことかを理解し、心身障害者の特徴や歯科的対応、要介護高齢者の特徴や歯科的対応について学習する。特に障害者や要介護高齢者に対する口腔衛生指導やブラッシング指導および口腔機能向上訓練などの口腔ケアにおける歯科衛生士の役割について学習する。

【学修目標】

- 障害の概念を説明する。
- 障害者の全身の特徴と歯科的特徴を説明する。
- 器質的口腔ケアと機能的口腔ケアの実際について説明する。
- 摂食嚥下障害について説明する。
- 高齢者の概念を説明する。
- 要介護高齢者の全身の特徴と歯科的特徴を説明する。
- 訪問歯科保健指導を行う上での留意点を説明する。
- 医療保険と介護保険について説明する。
- 各種業務記録について説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	障害者・高齢者歯科学オリエンテーション	ワークショップ 講義当日に参考資料を配付する。	佐々木 健 齊藤 正人 會田 英紀
2			
3	障害者歯科の総論	心身障害者の定義 心身障害者の歯科的問題 心身障害者の特徴 歯科衛生士教本小児歯科 p110-122 講義当日に参考資料を配付する。	齊藤 正人 福田 敦史
4	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応	精神発達遅滞の概要と歯科的特徴 脳性麻痺の概要と歯科的特徴 自閉症の概要と歯科治療時の対応 歯科衛生士教本小児歯科 p110-122 講義当日に参考資料を配付する。	齊藤 正人
5	心身障害者の種類と特徴、歯科的対応	ダウン症の概要と歯科的特徴 てんかん発作の概要と歯科治療時の対応 進行性筋ジストロフィーの概要と歯科治療時の対応 視覚障害、聴覚障害の特徴と対応法 言語障害（唇顎口蓋裂）の概要と歯科的特徴 歯科衛生士教本小児歯科 p110-122 講義当日に参考資料を配付する。	齊藤 正人
6	器質的口腔ケアと機能的口腔ケア 摂食嚥下障害	器質的口腔ケアと機能的口腔ケアの定義 器質的口腔ケアと機能的口腔ケアにおける歯科衛生士の役割 器質的口腔ケアと機能的口腔ケアの実際 摂食嚥下障害の概要 講義当日に参考資料を配付する。	齊藤 正人

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
7	高齢者をとりまく社会	社会環境について概説できる。 社会保障について概説できる。 高齢者歯科学 p1-28	塚越 慎
8	加齢の科学	加齢と老化について概説できる。 組織・器官の変化について概説できる。 身体機能の変化について概説できる。 精神・心理的機能の変化について概説できる。 口腔領域の変化について概説できる。 口腔機能の変化について概説できる。 高齢者歯科学 p29-62	塚越 慎
9	高齢者における口腔領域の疾患	高齢者のう蝕について概説できる。 高齢者の歯周疾患について概説できる。 高齢者の口腔粘膜疾患について概説できる。 高齢者の口腔乾燥について概説できる。 高齢者の口臭について概説できる。 高齢者のその他の疾患について概説できる。 高齢者歯科学 p63-96	塚越 慎
10	全身状態の把握と対応 高齢者歯科医療の場	医療情報について概説できる。 全身疾患の評価と対応について概説できる。 その他の配慮を必要とする患者への対応について概説できる。 通院困難者について概説できる。 外来診療について概説できる。 往診と訪問診療について概説できる。 高齢者歯科学 p97-136	尾立 光
11	口腔衛生管理 介護保険における歯科衛生士の役割	口腔衛生管理の視点から見た高齢者の口腔内環境について概説できる。 口腔環境の評価法について概説できる。 口腔健康管理の実際について概説できる。 介護予防について概説できる。 施設高齢者における口腔ケア・マネジメントの実際について概説できる。 在宅における口腔健康管理について概説できる。 栄養管理について概説できる。 高齢者歯科学 p137-160, 191-220	尾立 光
12	摂食嚥下障害とリハビリテーション	摂食嚥下機能のメカニズムについて概説できる。 摂食嚥下機能の評価・診断について概説できる。 摂食嚥下障害への対応について概説できる。 高齢者歯科学 p161-190	尾立 光
13	(特別講義)	高齢者・障害者に対する行政の関わり	佐々木 健
14) 15	障害者・高齢者歯科まとめ	ワークショップ 講義当日に参考資料を配付する。	佐々木 健 齊藤 正人 會田 英紀

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ワークショップのプロダクト（必須）

定期試験

障害者歯科学：50%

高齢者歯科学：50%

【教科書】

「歯科衛生士講座 高齢者歯科」 永末書店

【参考書】

「歯科衛生士教育マニュアル新編小児歯科学」 クインテッセンス出版株式会社

【学修の準備】

予習は、次回の授業範囲について指定した教科書の「歯科衛生士教育マニュアル新編小児歯科学」ならびに「歯科衛生士講座 高齢者歯科」の当該部分を事前に読んで理解しておくこと（80分）。

復習は、教科書、プリントなどを活用し、学習を深めること（80分）。

ワークショップは担当教員が準備する。筆記用具のみ持参すること。

時折小テストを実施するので学習内容の復習を行うこと。

【実務経験】

齊藤 正人（歯科医師）、會田 英紀（歯科医師）、塚越 慎（歯科医師）、尾立 光（歯科医師）、佐々木 健（歯科医師）、福田 敦史（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者の歯科治療、訪問歯科診療に関して十分な実務経験のある歯科医師が担当している。